

第71回 **NHK**杯

全国高校放送コンテスト 第58回大分県大会

日 時：令和6年6月 2日(日) アナウンス・朗読部門 準決勝 8:50～16:00

令和6年6月 16日(日) アナウンス・朗読部門 決 勝 8:50～16:30
番組部門・研究発表部門

※2日、16日は8:20から会場設営を行います。大分市内の学校は協力をお願いします

会 場：明日香美容文化専門学校（大分市東大道1丁目4番22号）

主 催：大分県高等学校文化連盟

共 催：NHK大分放送局

後 援：大分県教育委員会



【当日持参するもの】

6月2日(日) アナウンス・朗読部門準決勝

・大会冊子 ・アナウンス部門…原稿 8部 ・朗読部門…原稿 8部

6月16日(日) アナウンス・朗読部門決勝、テレビ番組・ラジオ番組

・大会冊子 ・アナウンス部門…原稿 12部 ・朗読部門…原稿 12部

■令和6年度 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト第58回大分県大会（アナウンス・朗読準決勝）

6月2日（日） 8:20～ 会場設営（大分市内の高校）

8:50～ 9:20 受付：大分上野丘3人（受付・抽選）・大分舞鶴3人（仕分け）

9:30～9:50 役員・来賓・審査員打ち合わせ…11F展望ラウンジ

	(10F)スタジオアスカ大ホール	(6F)601・602 教室	(8F)カット&ブロールーム
8:50 9:50 10:00 11:30 13:00 14:30 15:30	※P A準備ー大分雄城台	※P A準備ー大分	生徒控室・発声練習
	開会式・諸注意		
	朗読部門準決勝A 3 7 名 (1 番～37 番) 10:00～11:30	朗読部門準決勝B 3 7 名 (38 番～74 番) 10:00～11:30	
	審査休憩 11:30～13:00		
	アナウンス部門準決勝 3 7 名 (1 番～37 番) 13:00～14:20	朗読部門準決勝C 3 7 名 (75 番～111 番) 13:00～14:40	
	審査休憩 14:40～15:30		
	閉会式（決勝進出者発表）		
会場進行	首藤	村上	
常任審査員	首藤・飯田	村上・平島	
顧問審査員	各部門 3 名	各部門 3 名	
集 計	高橋		
原稿計時	午前：芸術緑丘 2 名 午後：別府翔青 2 名	午前：別府鶴見丘 2 名 午後：宇 佐 2 名	
回収・裁断	午前：大分南 2 名 午後：大分豊府 2 名	午前：大分商業 2 名 午後：日 田 2 名	
機器設営・操作	池田	大林	

【機材準備】首藤 … 601・602教室用マイク・PA

（キャノン3P（オス・メス）20m×4本、SM58_4本、YAMAHA PAセット、マイクスタンド2本、卓上スタンド2本）

【講評用紙印刷】村上

【記念楯注文】斎藤

【お弁当注文】池田

【お茶準備】高橋

顧問審査員 ※上記の常任審査員を加えた5名で審査します。

朗読A ー 五十川 靖浩（佐伯鶴城），中川 智法（昭和学園），森本 清香（大分西）

朗読B ー 有元 理恵（宇佐産業科学），大岩 篤貴（鶴崎工業），古長 真耶（大分舞鶴）

朗読C ー 須崎 貢仁（大分鶴崎），寺本 早苗（宇佐），野畑 由実（臼杵）

アナ ー 河室 千春（大分南），木崎 智清（大分商業），多田 政友（三重総合）

■参加校で協力して運営をしています。すべての学校に審査員を一回はお願いしています。ご協力お願いします。

■当日の引率顧問が上記と異なる場合も、その学校でお願いします。審査員の先生方にはお弁当を用意しております。

大会諸注意

- 受付確認
- 廊下・階段を走ったり、話をしたりしないこと
 - ※審査会場に響きます
- 演技中は大ホール・601・602教室の扉の開閉を禁止する
- ごみは各自で持ちかえる
- 発表の場所・タイムテーブル確認
- 出演順に注意、出演前の5人は前に出て座る
- クレジットは、出演番号→氏名→（作者名・作品名）
- 発表中・演技中は静粛をお願いします
- 携帯電話は電源を切る（マナーモードのバイブ音も発表の妨げになります）
- 発声部屋の整理整頓
- マイク通しは、全員の機会を保证するものではありません。進行の妨げにならない中で許可します。
- 公共物を大切に使う
- 各部屋の備品に触らない
 - （館内には学生の作品などが展示されています。手を触れないようにして下さい。）
- 荷物の管理…貴重品は携行する
- 他人の荷物に触れない
- その他
 - 来たときよりも美しく
 - 各部屋の備品に触らない

■県大会番組審査

日 程 6 月 15 日(土)

会 場 大分雄城台高校

審査員

専門職審査員	百崎 雅子	(NHK大分放送局チーフリード)
	工藤 健太	(TOSテレビ大分 制作部)
	大久保 千夏	(OAB大分朝日放送 ニュース情報センター ニュースプロデューサー)

常任委員	齋藤 龍一(玖珠美山)	飯田 亜貴(大分雄城台) *ラジオ審査
	池田 耕三(大分雄城台) *テレビ審査	大林 幸誉(高田)
	首藤 路子(大分)	高橋 智彦(宇佐)
	平島 恵(大分東明)	松本 隆宏(大分上野丘)
	村上 聡子(別府鶴見丘)	

顧問	阿部 映真(杵築)	安藤 健二(大分豊府)	河村 元太(中津北)
----	-----------	-------------	------------

■令和6年度 第71回NHK杯全国高校放送コンテスト第58回大分県大会（全部門決勝）

6月16日（日）8:20～ 会場設営（大分市内の高校）
 8:50～9:20 受付：大分舞鶴3人（受付・抽選）・大分上野丘3人（仕分け）
 10:00～10:20 役員・来賓・審査員打ち合わせ…1 1 F展望ラウンジ
 16:30～17:00 全国大会出場校顧問打ち合わせ…1 1 F展望ラウンジ

	(10F)スタジオアスカ大ホール	(6F)601・602 教室	(8F)カット&ブロールーム
	※PA準備－大分	※PA準備－大分雄城台	
9:40	開会式		
10:00	9:40～9:55		
10:20		ラジオドキュメント部門 6 作品 10:00～11:00	
11:00	朗読部門決勝 10:20～11:50	テレビドキュメント部門 7 作品 11:00～12:00	
12:00	昼 食 12:00～12:50	昼 食 12:00～12:50	
13:00	研究発表部門 3 校 13:00～13:40	創作ラジオドラマ部門 13 作品 12:50～14:40	
14:00	アナウンス部門決勝 13:50～14:50		
14:30	審査休憩 14:50～16:00	創作テレビドラマ部門 8 作品 14:40～15:50	
15:20			
16:00	講評 閉会式 16:00～16:30 成績発表	PA…池田 BDプレイヤー…池田 プロジェクター…池田 機器操作…宇佐	
会場運営	首藤・村上	松本	
常任審査員	(午前) 首藤・飯田 (午後) 村上・平島	—	
顧問審査員	下記	—	
集計	高橋	—	
回収・裁断	午前：大分雄城台 午後：大分豊府	—	
原稿計時	午前：芸術緑丘 午後：別府鶴見丘	—	
機器設営操作	池田	松本	
その他	(賞状準備) 大林 (お弁当注文) 池田	(講評用紙) 村上 (お茶) 松本	(研発準備) 池田・高橋

専門職審査員 内藤 雄介（NHK大分放送局 チーフリード）
 三重野 勝己（OBS大分放送 アナウンス部長）
 工藤 健太（TOSテレビ大分 報道制作部長）
 大久保 千夏（OAB大分朝日放送 ニュース情報センター ニュースプロデューサー）

顧問審査員 佐藤 あづみ（別府翔青） 前田 純子（由布） 姫野 義雄（芸術緑丘）

開会式

進行：首藤

- 1 開会の言葉：首藤
- 2 高文連放送専門委員長挨拶：足立 史歩
- 3 審査員・役員紹介：首藤
- 4 諸注意：村上

○受付確認

○廊下・階段を走ったり、話をしたりしないこと

※審査会場に響きます

○演技中は大ホール正面扉の開閉を禁止する

○ごみは各自で持ちかえる

○発表の場所・タイムテーブル確認

○出演順に注意、出演前の5人は前に出て座る

○クレジットは、

出演番号→氏名→(作者名・作品名)

○番組部門は発表時に代表者が前に座り、学校名と

タイトルを言う(出演順に注意)

○発表中・演技中は静粛をお願いします

○携帯電話の使用

○施設利用について 発声部屋の整理整頓

○マイクの使い方

○マイク通しは、全員の機会を保证するものではありません。進行の妨げにならない中で許可します。

○公共物を大切に

○各部屋の備品に触らない

○荷物の管理…貴重品は携帯する

○他人の荷物に触れない

○その他

来たときよりも美しく

各部屋の備品に触らない

- 6 閉式の言葉：首藤

講評：内藤 雄介

(NHK大分放送局 チーフリード)

閉会式

進行：首藤

- 1 開会の言葉：首藤
- 2 専門部会長挨拶：足立 史歩
- 3 審査結果発表：斎藤
- 4 表彰

★表彰式係分担

進行：首藤

整列：大林

賞状：斎藤

楯：松本

BGM：池田

写真：高橋

- 5 諸連絡

○ごみの持ち帰り

○忘れ物

○講評用紙

○領収書

○全国大会出場校顧問打ち合わせについて

○記念撮影

○その他

■決勝課題・自分の原稿の後に続けて読む。(準決勝に課題はありません)

☆アナウンス部門決勝課題(読点是一部省いてあるので工夫して読むこと)

福祉委員会よりお知らせです。来週の福祉ウィークで未使用の文房具を回収します。集めた文房具はNPOを通じて東南アジアの小学校に送られる予定です。金曜日までに生徒会室前の回収ボックスに各自持参してください。

☆朗読部門決勝課題 ※下線部のみ読むこと。

大分の別府温泉は、力は名前だけしか聞いたことがない。母もそうだろうと思ったし、単に名前が有名だから目指してきただけだと思っていたのに、そうではなかったのか。確かに姫路から別府はかなりの長旅で、どうして行こうという気になったのか不思議にも思っていた。

「来たことあんの？」

二階の部屋に案内される時、力が小声で聞いてみると、一歩先を歩いて階段を上る母がこっちを振り向かないまま、「ん」と答えた。

「大昔。力が生まれる前に、劇団の公演で来たの。その時に、みんなで泊まった」

母が、早口に言った。

辻村深月『青空と逃げる』

※力…^{ほんじょうちから}本条力(主人公)

大会会長	足立 史歩	(大分県高文連放送専門部会長)
常任委員	斎藤 龍一	(玖珠美山高校・大分県高文連放送専門部委員長)
	飯田 亜貴	(大分雄城台高校)
	池田 耕三	(大分雄城台高校)
	大林 幸誉	(高田高校)
	首藤 路子	(大分高校)
	高橋 智彦	(宇佐高校)
	平島 恵	(大分東明高校)
	松本 隆宏	(大分上野丘高校)
	村上 聡子	(別府鶴見丘高校)

■参加校

- | | | | | |
|--------|---------|-------|-------|--------|
| ・宇佐 | ・宇佐産業科学 | ・臼杵 | ・大分 | ・大分上野丘 |
| ・大分雄城台 | ・大分商業 | ・大分鶴崎 | ・大分東明 | ・大分西 |
| ・大分豊府 | ・大分舞鶴 | ・大分南 | ・杵築 | ・玖珠美山 |
| ・芸術緑丘 | ・佐伯鶴城 | ・昭和学園 | ・高田 | ・鶴崎工業 |
| ・中津北 | ・中津南 | ・日田 | ・別府翔青 | ・別府鶴見丘 |
| ・三重総合 | ・由布 | | | |

以上27校

■朗読指定作品

指定課題5作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

- 【1】『泥流地帯』 著者：三浦 綾子 出版社：新潮文庫
- 【2】『小さな幸せ 46 こ』 著者：よしもと ばなな 出版社：中公文庫
- 【3】『レキシントンの幽霊』 著者：村上 春樹 出版社：文春文庫
- 【4】『チップス先生、さようなら』 著者：ジェイムズ・ヒルトン（白石 朗 訳）出版社：新潮文庫
- 【5】『大鏡』（出版社は問わない）

※電子書籍不可

※作品番号1は、平成21年56刷改版以降のものに限る。

※作品番号2・3は、収録作品のいずれを選んでも良い。

※作品番号4は、他の出版社、翻訳者のものは不可。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみなす。本文中の（内）も読むこと。読み仮名・訳者注を除く

NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会～大分県高文連放送専門部の歩み～

アナウンス・朗読部門

回数（年度）県回数	部 門	賞	氏 名	学 校
第 23 回（1976）㊿	アナウンス	1 位	小出 真由美	大分女子
第 26 回（1979）㊿	アナウンス	3 位	谷口 千波	大分女子
第 27 回（1980）㊿	アナウンス	4 位	安達 智子	大分舞鶴
第 28 回（1981）㊿	アナウンス	2 位	安達 智子	大分舞鶴
		4 位	赤嶺 一代	三 重
第 29 回（1982）㊿	アナウンス	4 位	川面 江利子	安心院
第 30 回（1983）㊿	アナウンス	4 位	河野 留美子	大分舞鶴
第 34 回（1987）㊿	朗 読	4 位	麻生 有里	三 重
第 36 回（1989）㊿	朗 読	4 位	山木 彩子	大分女子
第 39 回（1992）㊿	アナウンス	3 位	木本 美穂	大分豊府
第 40 回（1993）㊿	朗 読	4 位	湯浅 千代美	森
第 41 回（1994）㊿	アナウンス	4 位	増田 ゆか	大分舞鶴
	朗 読	4 位	安部 美穂子	大分上野丘
第 45 回（1998）㊿	アナウンス	優 良	戸高 尚子	佐伯鶴城
第 46 回（1999）㊿	アナウンス	優 良	玉野井 雅美	大分東明
	朗 読	優 秀	後藤 祐樹	大分上野丘
第 47 回（2000）㊿	アナウンス	準優勝	森 郁江	三 重
		優 良	玉野井 雅美	大分東明
	朗 読	優 秀	高嶋 和代	大分南
第 50 回（2003）㊿	アナウンス	優 勝	永田 三佳	大 分
第 52 回（2005）㊿	朗 読	優 良	小野 晋太郎	日出暘谷
		優 良	西岡 真央	大分舞鶴
第 53 回（2006）㊿	朗 読	優 良	後藤 さやか	大分上野丘
第 55 回（2008）㊿	朗 読	優 良	落合 亜耶	中津北
第 56 回（2009）㊿	アナウンス	準優勝	新川 結子	大分雄城台
	朗 読	準優勝	青木 千尋	大分上野丘
第 58 回（2011）㊿	朗 読	優 良	高倉 和紀	大分南
第 61 回（2014）㊿	アナウンス	優 秀	宮本 真智	大分上野丘
第 63 回（2016）㊿	アナウンス	優 秀	河野 里都菜	大分上野丘
第 65 回（2018）㊿	アナウンス	優 勝	橋本 由紀	大分舞鶴
第 66 回（2019）㊿	アナウンス	優 良	中尾 暖奈	大分南
第 68 回（2021）㊿	朗 読	優 良	千原 和奈	大分舞鶴
第 70 回（2023）㊿	朗 読	準優勝	川野 優華	別府鶴見丘

番組部門

回数（年度）県回数	部 門	賞	タイトル	学 校
第 19 回（1972）⑥	ラジオ報道	2 位	この母の悲しみを	別府商業
第 27 回（1980）⑭	ラジオ課題	3 位	ばんざい 2 3 9 日	大分女子
	ラジオ自由	3 位	左折 ヨシヨシヨシ	中津南
		4 位	さけぶ	大分舞鶴
第 30 回（1983）⑰	ラジオ自由	4 位	小さな愛 大きな愛	三 重
第 31 回（1984）⑱	ラジオ自由	2 位	あと 5 日しか命がなかったら	大分女子
第 34 回（1987）㉑	ラジオ課題	2 位	腐ったキャベツ	大分女子
第 38 回（1991）㉕	テレビ課題	4 位	新あまぎへの誘い	大分工業
	ラジオ課題	2 位	もっと強く生きたい	大分女子
	研究発表	4 位	福祉の心～開かずの扉を開けて～	大分豊府
第 39 回（1992）㉖	研究発表	4 位	放送部活動の未来に向けて・・・	大分豊府
第 40 回（1993）㉗	創作ラジオドラマ	3 位	墓場より愛をこめて	別府鶴見丘
第 42 回（1995）	テレビ課題	3 位	花のヨシモト剛の挑戦	大分舞鶴
第 44 回（1997）㉙	テレビ番組第Ⅰ	優 良	艶（つや）	大 分
	創作ラジオドラマ	優 良	私のはじまり	別府鶴見丘
第 45 回（1998）㉚	テレビ番組第Ⅰ	優 良	ぼくらの重戦車	大分舞鶴
	創作ラジオドラマ	優 良	ユミ	三 重
第 46 回（1999）㉛	テレビ番組第Ⅱ	優 良	春よ、来い！	大分舞鶴
	ラジオ番組第Ⅱ	優 良	少年たちは今	三 重
第 47 回（2000）㉜	ラジオドキュメント	優 良	炭の旋律	三 重
第 49 回（2002）㉞	創作ラジオドラマ	優 勝	夢魂列車	大分雄城台
第 51 回（2004）㉟	ラジオドキュメント	優 良	八月一五日、戦争は終わらない・・・	日出暘谷
	創作ラジオドラマ	準優勝	赤ちゃんは、我がママ！？	大分南
第 52 回（2005）㊱	ラジオドキュメント	優 良	響け！サウンド・トライアングル	大分南
第 53 回（2006）㊲	ラジオドキュメント	優 勝	恋文～Mirror is your heart～	中津北
第 54 回（2007）㊳	ラジオドキュメント	優 勝	Mt. Hachimen May 7th, 1945	中津北
第 55 回（2008）㊴	テレビドキュメント	優 勝	1.44 m ²	大分上野丘
第 57 回（2010）㊵	テレビドキュメント	優 良	ぼくはくぼくん	大分雄城台
		優 良	ポロリ	大分上野丘
第 60 回（2013）㊶	ラジオドキュメント	準優勝	THE LIFE	大分上野丘
第 68 回（2021）㊸	ラジオドキュメント	優 勝	Gong for USA	宇 佐
第 70 回（2023）㊹	ラジオドキュメント	優 良	男子、生理を知る	別府鶴見丘

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト 第58回大分県大会入賞者一覧

アナウンス部門

賞	学校名	氏名
最優秀		
優秀		
優良		
奨励		

優良までが全国大会出場

ラジオドキュメント部門

賞	学校名	作品名
最優秀		
優秀		
優良		
奨励		

優良までが全国大会出場

創作ラジオドラマ部門

賞	学校名	作品名
最優秀		
優秀		
奨励		

優秀までが全国大会出場

研究発表部門

賞	学校名	タイトル
最優秀		
優秀		
奨励		

優秀までが全国大会出場

朗読部門

賞	学校名	氏名
最優秀		
優秀		
優良		
奨励		

優良までが全国大会出場

テレビドキュメント部門

賞	学校名	作品名
最優秀		
優秀		
優良		
奨励		

優良までが全国大会出場

創作テレビドラマ部門

賞	学校名	作品名
最優秀		
優秀		
奨励		

優秀までが全国大会出場

アナウンス部門

連番	学校	氏名	フリガナ	学年
1	大分県立大分鶴崎高等学校	衛藤 桃子	イトウ モモコ	1
2	大分県立鶴崎工業高等学校	川邊 加奈子	カワベ カナコ	3
3	大分県立大分西高等学校	北崎 詩乃	キタザキ シノ	1
4	大分県立大分西高等学校	工藤 千晴	クドウ チハル	1
5	大分県立大分西高等学校	三浦 遥香	ミウラ ハルカ	1
6	大分県立大分豊府高等学校	田中 彩絢	タナカ サヤ	3
7	大分県立大分豊府高等学校	亀井 麻衣	カメイ マイ	3
8	大分県立大分南高等学校	高野 永莉	タカノ エリ	3
9	大分県立大分商業高等学校	堀 弘希	ホリ ヒロキ	2
10	大分県立大分雄城台高等学校	後藤 咲嬉	ゴトウ サキ	3
11	大分県立大分雄城台高等学校	佐藤 夏姫	サトウ ナツキ	2
12	大分県立大分雄城台高等学校	菅本 美桜	スガモト ミオ	2
13	大分県立大分舞鶴高等学校	金子 芽生	カネコ メイ	3
14	大分県立大分舞鶴高等学校	木元 優	キモト ユウ	3
15	大分県立大分舞鶴高等学校	廣田 悠香	ヒロタ ハルカ	2
16	大分県立大分上野丘高等学校	上田 奈々	ウエダ ナナ	2
17	大分県立大分上野丘高等学校	幸 竜矢	ユキ リツヤ	3
18	大分県立大分上野丘高等学校	廣瀬 あかり	ヒロセ アカリ	3
19	大分県立大分上野丘高等学校	勝木 愛結	カツキ アイ	2
20	大分県立大分上野丘高等学校	安藤 万葉	アンドウ マンハ	1
21	大分県立大分上野丘高等学校	築城 心春	ツキキ コハル	1
22	大分県立大分上野丘高等学校	二宮 遥志	ニノミヤ ハルシ	1
23	大分県立大分上野丘高等学校	原田 璃央	ハラダ リオ	3
24	大分県立別府鶴見丘高等学校	川野 太雅	カワノ タイガ	3
25	大分県立別府鶴見丘高等学校	平尾 咲季	ヒラオ サキ	3
26	大分県立別府鶴見丘高等学校	麻生 有希	アソウ ユキ	3
27	大分県立別府鶴見丘高等学校	伊藤 千尋	イトウ チヒロ	2
28	大分県立別府鶴見丘高等学校	西原 悠生	ニシハラ ユウセイ	2
29	大分高等学校	林 朋美	ハヤシ トモミ	3
30	大分高等学校	早田 琴音	ハヤタ コトネ	2
31	大分県立佐伯鶴城高等学校	五十川志歩	イカガワシホ	2
32	大分県立芸術緑丘高等学校	山本 由弥	ヤマモト ユミ	3
33	大分県立芸術緑丘高等学校	岩尾 陽菜子	イワオ ヒナコ	2
34	大分県立芸術緑丘高等学校	上田 歩夢	ウエダ アユム	1
35	大分県立宇佐高等学校	令官 朋子	レイカン トモコ	3
36	大分県立宇佐高等学校	古森 彩夏	コモリ アヤカ	2
37	大分県立日田高等学校	三隅 春奈	ミスミ ハルナ	2

朗読部門

連番	学校	氏名	フリガナ	学年	作品
1	大分県立大分鶴崎高等学校	朝倉 樹	アサクラ イツキ	2	4
2	大分県立大分鶴崎高等学校	都 理孔	ミヤコ リク	1	3
3	大分県立大分鶴崎高等学校	阿賀 美月	アガ ミツキ	1	2
4	昭和学園高校	甲斐 彩子	カイ アヤコ	3	3
5	昭和学園高校	久木田 璃南	キキタ リミナ	1	2
6	大分県立玖珠美山高等学校	濱邊 凜	ハマベ リン	3	3
7	大分県立玖珠美山高等学校	小野 空	オノ ソラ	2	2
8	大分県立由布高等学校	平野 里緒	ヒラノ リオ	2	3
9	大分県立由布高等学校	佐藤 愛佳	サトウ アイカ	2	4
10	大分県立由布高等学校	花岡 晴香	ハナカ ハルカ	2	3
11	大分県立由布高等学校	本郷 奏介	ホンゴウ ソウスケ	1	2
12	大分県立別府翔青高等学校	仲西 理人	ナカニシ マサト	3	4
13	大分県立別府翔青高等学校	神 更紗	コウ サラサ	3	2
14	大分県立別府翔青高等学校	小川 大雅	オガワ タイガ	3	3
15	大分県立別府翔青高等学校	赤井 桃子	アカイ モモコ	2	3
16	大分県立別府翔青高等学校	村中 愛美	ムラナカ アミ	2	3
17	大分県立別府翔青高等学校	佐藤 蒼也	サトウ ソウヤ	2	3
18	大分県立別府翔青高等学校	阿部 みこと	アベ ミコト	2	3
19	大分県立別府翔青高等学校	佐藤 希美	サトウ ノゾミ	2	4
20	大分県立別府翔青高等学校	中嶋 悠翔	ナカシマ ヒサト	2	3
21	大分県立臼杵高等学校	源 一織	ミナモト イチリ	2	1
22	大分県立臼杵高等学校	高野 りお	タカノ リオ	2	3
23	大分県立臼杵高等学校	藤田 柚季	フジタ ユズキ	2	3
24	大分県立臼杵高等学校	本田 恵菜	ホンダ ケイ	2	2
25	大分県立大分西高等学校	清田 柚子	キヨタ ユズ	2	3
26	大分県立大分西高等学校	石野 心	イシノ コロ	2	4
27	大分県立大分豊府高等学校	篠原 千幸	シノハラ チユキ	2	2
28	大分県立大分豊府高等学校	藤浪 萌	フジナミ モエ	2	3
29	大分県立大分豊府高等学校	手柴 萌桃乃	テシハ モモノ	1	3
30	大分県立大分豊府高等学校	東 柚璃	ヒガシ ユリ	1	4
31	大分県立大分豊府高等学校	内藤彩衣音	ナイトウ アイネ	1	2
32	大分県立大分南高等学校	矢野 妃愛	ヤノ ヒヨリ	3	1
33	大分県立大分南高等学校	出口 優里菜	デグチ ユリナ	2	2
34	大分県立大分南高等学校	山口 叶夢	ヤマグチ カン	1	2
35	大分県立大分南高等学校	竹下 玲菜	タケシタ レイナ	1	2
36	大分県立大分南高等学校	久保田 美心	クボタ ミミ	1	2
37	大分県立大分南高等学校	黒野 華瑚	クロノ カ	1	2
38	大分県立三重総合高等学校	川邊 桃	カワベ モモ	2	3
39	大分県立三重総合高等学校	成田 葵	ナリタ アイ	2	1
40	大分県立三重総合高等学校	真田 美咲	マナタ ミサキ	2	2

連番	学校	氏名	フリガナ	学年	作品
41	大分県立大分商業高等学校	羽田野 美佳	ハノ ミカ	3	2
42	大分県立大分商業高等学校	村井 ひより	ムライ ヒヨリ	3	3
43	大分県立大分商業高等学校	堤 夏音	ツツミ ナツネ	2	3
44	大分県立大分商業高等学校	加藤 朱華	カノウ アサカ	2	2
45	大分県立大分商業高等学校	池邊 さくら	イケベ サクラ	1	3
46	大分県立大分商業高等学校	甲斐 愛莉	カイ アイリ	1	3
47	大分東明高等学校	大久保 望	オオクボ ノゾミ	2	2
48	大分東明高等学校	宮川 龍	ミヤガワ リョウ	2	3
49	大分県立中津北高等学校	岡田 美祝	オカダ ミノリ	2	3
50	大分県立中津北高等学校	小野 智美	オノ サトミ	2	1
51	大分県立大分雄城台高等学校	市川 あづみ	イチカワ アヅミ	2	1
52	大分県立大分雄城台高等学校	有田 陸	アリタ リク	1	1
53	大分県立大分雄城台高等学校	溝腰 陽登	ミゾコシ ハルト	1	3
54	大分県立大分雄城台高等学校	後藤 百香	ゴトウ モモカ	1	2
55	大分県立宇佐産業科学高等学校	河野 琉々果	コウノ ルカ	3	3
56	大分県立宇佐産業科学高等学校	北永 もえ	キタナガ モエ	3	2
57	大分県立大分舞鶴高等学校	山下 恵実	ヤマシタ メグミ	3	1
58	大分県立大分舞鶴高等学校	岩崎 紫	イワサキ ユカリ	2	2
59	大分県立大分舞鶴高等学校	下郡 清花	シモコウリ サカ	2	2
60	大分県立大分舞鶴高等学校	山田 ゆめ	ヤマダ ユメ	2	1
61	大分県立大分舞鶴高等学校	木村 百花	キムラ モモカ	1	2
62	大分県立大分舞鶴高等学校	郷田 天	ゴウダ ソラ	1	2
63	大分県立大分舞鶴高等学校	後藤 ゆい	ゴトウ ユイ	1	2
64	大分県立大分舞鶴高等学校	立川 舞	タチカワ マイ	1	2
65	大分県立大分上野丘高等学校	池永 愛子	イケナガ アイコ	2	1
66	大分県立大分上野丘高等学校	甲斐田 湖珀	カイタ コハク	2	3
67	大分県立大分上野丘高等学校	城戸 浩菜	キト ヒロナ	2	1
68	大分県立大分上野丘高等学校	佐藤 真緒	サトウ マオ	1	3
69	大分県立大分上野丘高等学校	藤原 光里	フジワラ ヒカリ	1	2
70	大分県立大分上野丘高等学校	玉井 友梧	タマイ ユウゴ	1	1
71	大分県立大分上野丘高等学校	河野 愛香	コウノ マカ	3	1
72	大分県立大分上野丘高等学校	吉賀 渉乃花	ヨシガ ホノカ	3	2
73	大分県立別府鶴見丘高等学校	大沢 萌恵	オオザワ モエ	3	1
74	大分県立別府鶴見丘高等学校	後藤 真菜実	ゴトウ マナミ	3	3
75	大分県立別府鶴見丘高等学校	荒金 未有	アラカネ ミユ	3	3
76	大分県立別府鶴見丘高等学校	田中 梨菜	タナカ リナ	2	3
77	大分県立別府鶴見丘高等学校	宮脇 麻萌	ミヤワキ マホ	2	2
78	大分県立別府鶴見丘高等学校	合原 陽奈	ゴウハラ ヒナ	2	1
79	大分県立別府鶴見丘高等学校	戸次 菜々子	ヘツギ ナナコ	1	2
80	大分県立別府鶴見丘高等学校	吉野 萌々	ヨシノ モモ	1	2
81	大分県立別府鶴見丘高等学校	花田 悠莉	ハナタ ユリ	1	2
82	大分県立別府鶴見丘高等学校	荒谷 舞由香	アラタニ マユカ	1	2
83	大分県立別府鶴見丘高等学校	漆間 亜美	ウルマ アミ	1	2

連番	学校	氏名	フリガナ	学年	作品
84	大分高等学校	宇都宮 夕渚	ウツノミヤ ユウナ	2	1
85	大分高等学校	岩見 姫奈	イワミ ヒナ	2	2
86	大分高等学校	織田 栞史	オリ シオリ	1	2
87	大分高等学校	小野 翔勇	オノ トウマ	1	3
88	大分県立佐伯鶴城高等学校	山田 楓	ヤマダ カエデ	3	4
89	大分県立佐伯鶴城高等学校	荒木 芽衣	アラキ メイ	2	3
90	大分県立佐伯鶴城高等学校	後藤 梨紗	ゴトウ リサ	1	1
91	大分県立佐伯鶴城高等学校	濱橋 優奈	ハマハシ ユウナ	1	2
92	大分県立芸術緑丘高等学校	小手川 咲月	コテガワ サツキ	3	3
93	大分県立芸術緑丘高等学校	阿南 穂花	アナン ホカ	3	3
94	大分県立芸術緑丘高等学校	石井 愛恵	イシイ メグミ	2	3
95	大分県立芸術緑丘高等学校	後藤 あおば	ゴトウ アオバ	2	3
96	大分県立芸術緑丘高等学校	中川 由結	ナカガワ ユイ	1	2
97	大分県立芸術緑丘高等学校	高橋 滢	タカハシ ミオ	1	3
98	大分県立宇佐高等学校	西 望乃	ニシ ノノ	3	2
99	大分県立宇佐高等学校	高山 光璃	タカヤマ ヒカリ	3	2
100	大分県立宇佐高等学校	元永 聖奈	モトナガ セナ	3	2
101	大分県立宇佐高等学校	北永 愛実	キタナガ マナミ	3	2
102	大分県立宇佐高等学校	渡邊 もも	ワタナベ モモ	2	1
103	大分県立宇佐高等学校	森 久織旗	モリ クシキ	1	1
104	大分県立宇佐高等学校	赤松 瑠璃子	アカマツ ルリコ	1	2
105	大分県立日田高等学校	佐藤 成汰朗	サトウ セイタロウ	3	3
106	大分県立日田高等学校	廣瀬 帆香	ヒロセ ホカ	3	4
107	大分県立日田高等学校	永野 晴香	ナガノ ハルカ	3	2
108	大分県立日田高等学校	児玉 志月	コタマ シヅキ	2	2
109	大分県立日田高等学校	中村 優花	ナカムラ ユカ	2	2
110	大分県立日田高等学校	山口 優真	ヤマグチ ユウマ	2	3
111	大分県立鶴崎工業高等学校	脇 瑠美華	ワキ ルミカ	3	3

【ラジオドキュメント部門】

整理 番号	学校名	タイトル	か
制作意図			

1	大分商業	献血行ってみた	ケンケツイツミタ
献血について知ってもらい、実際に施設へと足を運んでほしいという思いを込めて制作に至りました。献血についてあまり知識がない方にも理解しやすいように献血の概要から訪問までまとめました。			

2	大分雄城台	君たちはなぜ勉強するのか	キミタチハゼンベンギョウスルノカ
雄城台高校2年生の平日学習時間の目標は3時間。しかし、今の2年生の平均学習時間を調べたところ2時間にさえ達していません。では、雄城高生は学校から帰ってきてから寝るまでの勉強以外の時間は一体何をしているのでしょうか。なぜ勉強をしないのか。本当に勉強する必要はあるのか。実際に雄城生にアンケートを行い、高校生にとって、勉強とは何なのかを問いたいと考えこの番組を制作しました。			

3	杵築	読書が一番？	ドクショガイチバン？
近年、若者の読書離れをよく耳にします。私たちの学校でも先生から「読書をしなさい」と言われます。今はたくさん種類のメディアから情報を得られたり、本の要約をしてくれ短時間で本の内容を理解できるようなサービスが普及しています。本当に読書は必要なのかと思い、この番組を制作しました。			

4	大分舞鶴	Next Stage	ネクスト ステージ
高校生が高校の枠を超えて交流する場を作る、この思いから始めた団体活動が次のステージへ輪を広げています。コロナを乗り越え、高校生から社会へ、そのような思いが「高校生だから」といった先入観を変えていく、その活躍に心が動かされました。「高校生だからできる」といった前向きな未来に向けて一歩を踏み出そうと、この番組を制作しました。			

5	宇佐	第三の居場所	ダイサンノイバシヨ
近年子供と地域とのつながりが希薄になっていることが問題視される中、家と学校以外の居場所、サードプレイスがますます必要とされています。そんな中、本校勤務の真村先生が子ども劇場という活動をされていることを知りました。子ども劇場は、それに参加する人たちにとってどのような場所なのか。そして、これからの子ども劇場はどうなっていくのか。このような活動を広めるためにこの番組を制作しました。			

6	日田	変わらないお守り	カラナイオモリ
日田市では毎日決まった時間に市役所からチャイムが流れています。私たちは、このチャイムは何のために流れているのかと疑問を持ち市役所に取材しました。取材する中、市民の命・安全を守るために設置されている『防災無線』と深く関わっていることがわかりました。このチャイムの意味とは一体何なのでしょう？その意味を知り、私たちを守ってくれている身近なものに目を向け考えてほしいと思いこの番組を制作しました。			

【テレビドキュメント部門】

整理 番号	学校名	タイトル	か
制作意図			

1	大分豊府	防災のススメ	ホウサイノススメ
近年、日本中で大きな災害が起き始めています。大分県でもマグニチュード6.6の地震が豊後水道で発生し、豊府高校でもそのことが話題になっていました。そんな中、防災のための行動計画表、『大分マイタイムライン』宣伝動画の撮影協力を私達、豊府高校放送部がやることに。宣伝動画を作る中で、私達は様々な防災に携わる人、その想いと出会いました。災害の多いこの時代、私達に何かできることとはと思い、この番組を制作しました。			

2	中津北	私感を伝える	シカソツタエル
私たちの学校では「哲学対話」という活動を行っています。大分県では中津北高校のみが実施している取り組みです。1つのテーマについてクラスの友人と議論します。テーマに対する意見には正解がなく、お互いの意見について議論の中で考えを深めることはあれど、不定することはありません。他者との議論を通じて自分にはなかった考え方を知ることができます。このような我が校独自の取り組みを紹介したく思い、制作を決意しました。			

3	大分雄城台	走想のフリーラン	ソウソウノフリーラン
大分雄城台高校で行われている行事の一つに強歩大会というのがあります。しかし、生徒たちにとってはあまり印象に残っていません。今なお続いているのにはどんな理由があり、この行事が私たち生徒にとってどのような意味を持つのか。今よりもさらにきつい昔のコースを走ったり、給水場として大会の支援を行っていた方に当時の様子を聞いたりして、長年行われている行事の意義や大切さを伝えたいと思いこの作品を作りました。			

4	大分舞鶴	育自のすゝめ	イクジノススメ
「将来、子育てしてみたいですか？」出生率がどんどん減少している日本。高校生は子育てについて後ろ向きな考えの人が多いのかもしれませんが。小さい子供が苦手…経済的に不安…子供を育てる自信がない…。様々な思いを抱える高校生に、少しでも子育てに対して前向きに考えるようになってほしい！そこで私たちは、育児に携わる方々の話を聞いてわかった子育ての良さを伝えるため、この番組を制作しました。			

5	別府鶴見丘	じいさんと僕	ジイヤノボク
あなたにとって「おじいさん」はどんな存在ですか？人によっては、そこまで親しくなかったり、めったに会わなかったりする人もいるかもしれません。私たちは、歴史オタクであるたくとさんとそのきっかけを作ったおじいさんに取材しました。彼らへの取材の中で見えてくる二人の歴史や互いに対する思いを伝えたいと考え、この番組を制作しました。			

6	宇佐	笑みの推し活	イミノオシカツ
日本では近年、推し活は社会現象といってもいいほど一般的になっています。実際に私たちの中にもよく「〇〇推し！」だったり、「推しが尊い。」だったりと言っている人がたくさんいて、推し活をしている人たちはみんな幸せそうに見えます。ですが、推し活は本当にいいことばかりなののでしょうか。また、我々は推し活とどのようにしてつきあっていけばよいのでしょうか。それを見つけるためにこの番組を制作しました。			

7	日田	拝啓、授業中の指名へ…	ハイケイ、ジギョウチュウノシメイヘ…
高校生になって、授業内容が難しくなったことにより、授業中に指名されても、答えられる自信がなく、発表をしたくありません。しかし先生方は無情にも指名をしてくる。そこで、「先生方はどういう方法で指名をしてくるのか」と興味を持ちました。だから私たちは指名の方法にどんな種類があるのか、どんな方法がよく使われるのかを調べ、先生方に聞きました。どんな指名のされ方が多いのか、逆にどんな指名のされ方が少ないのか、発表しようと思います。			

【創作ラジオドラマ部門】

整理 番号	学校名	タイトル	か
制作意図			
あらすじ			

1	大分豊府	ココロ	ココロ
AIはさまざまなことを学び、吸収し、発達しています。いずれ私たち人類を超える存在になるでしょう。しかし、そんなAIにも足りないものがあるそれは人間が持っているものだとしたら？片方が支配し、もう片方が支配される。そんな関係ばかり考えるのではなく、互いに共存していくことができる未来を信じて、この作品を作りました。			
とある高校に転校してきたAIの「えあ」。彼女の目的は人類を支配すること。授業で誰よりも早く問題を解くことができた彼女は人間への勉強面での勝利を確信する。そこで次に彼女が手を出したのは部活動という文化的面での勝利であった。その勝負で負けた部活は廃止になると言われた人間たち。そのような状況の中で、彼らはAIとどのように向き合っていくのだろうか。			

2	中津南	限界放送部RPG Nコンクエスト	ゲンカイホウブアルビオン イコンクエスト
作中に出てくる放送部のモデルは私達です。部費が毎年5000円しか入らないという過酷な状況を打破するため、私たちは今大会に応募しました。作中では3人が部費を勝ち取るために奮闘していく中で徐々に友情が育まれていきますが、私たちもこの作品の制作を通じて友情が深まりました。この作品は他校に勝つものが何もない私たちが今大会に出るまでのノンフィクションドラマだと思って聞いてください。			
高校に入学し、先輩部員0人、パソコンは20年前のもの、挙げ句の果てに部費は“5000円”と様々な問題を抱える放送部に入った平川妃奈(ひらかわひな)、須田幸事(すだこうじ)、岩井響(いわいひびき)の三人。この状況を打破するためにある日、突如妃奈がNコンに出る！と全校の前で宣言する。部活の環境を改善しNコンに出場するために、校長に直談判を申し込む。果たして彼らは校長に勝つ事ができるのか！？ 限界放送部の熱き戦いが今、始まる。			

3	中津北	勇気を出して	ユウキダシテ
新年度となり、学校や学年など私たちの生活の様々なものが新しくなる中で、友人関係にも変化が現れてくると思っています。このラジオドラマはそんな友人関係の変化を軸とした3人の男女のお話です。友人関係において、自分から話しかける勇気や正直に気持ちを伝えることが重要なんだということをドラマを通じて伝えたいという思いで制作しました。			
中学校からの親友である梨花と葵は中学の卒業式でこれからはずっと友達でいようと約束をする。しかし、高校生になり、新しい友達ができることによって互いに2人の間に距離を感じるようになってしまう。1人で悩んでいた梨花はある日、中学から疎遠になってしまっていた友人、健介と再会する。健介に悩みを打ち明けた梨花は健介からのアドバイスによって徐々に心境に変化が始まる。			

4	大分雄城台	思いへ進む路	オモヘスミチ
今を生きる高校生にはたくさんの悩みがあると思います。友人のことや恋愛、学習に部活、その中でも最も多くの高校生が悩んでいるのが「進路」ではないでしょうか。まだ何も決まっていない人、親に決められた道を進む人、反対されても自分の道を歩む人。どの道を歩むにも、「親との関係」はつきものです。このラジオドラマは進路と親との関係に悩む全ての高校生の励みになればと思い、制作しました。			
主人公のあみは代々受け継がれる煎餅屋の娘。ある日母親から頼まれた大切な仕事を失敗し、叱られてしまう。母の反対を押し切って漫画の道に進みたかったあみは、何も持たずに家を飛び出してしまふ。大道具を積んだ舞台用のトラックの中で涼んでいるとそのトラックが発進してしまい、小さな劇場へと運ばれる。そこであみは同じような悩みを抱えた劇団の少女、鈴歌と出会う。鈴歌にはバンドマンの彼氏と一緒に武道館に立つという夢があり、その夢を応援することに決めたあみは鈴歌の代役として舞台に出ることになる。その後座長である鈴歌の母親から、劇団を継いで欲しかったこと、バンドマンの彼氏は正直心配だけど娘を応援していることを聞く。母親はいつになっても子どものことが心配だという思いを聞いたあみは、母もこんな風に自分のことを思ってくれていたのだと知り、母に自分の思いを真正面から話すことを誓った。			

5	杵築	相変わらず、愛変わらず	アイカワラス、アイカワラス
杵築高校放送部の3年は女子の割合が圧倒的に多い。高校生活の問題を挙げたとき、やはり友達関係が多く、その中でも今回は友達に関する依存について考えた。友達が自分のことをどのくらい好きかなんて誰にもわからない。それは相手も同じ。思春期の私たちは自分の気持ちを上手く言葉にできず衝突も多いが大切な友達を傷つけない為にはどのように友達と関わるべきかを考えた。 たくさんの友達がいて何をしても友達と一緒に心春は、一緒にいた友達を1人にして他の友達の所に行ってしまうなどの友達が多い故の問題に心春の友達はうんざりしていた。そこで心春の友達は心春の幼馴染のしずかに相談、愚痴を話す、しずかもそれに乗る。それを聞いた友達は心春から離れていってしまう。心春は友達が自分を避けている事に気づき、しずかに相談をした。しずかの相談を聞いた心春は自分のしてきた行動がどれほどのことだったかを知る。この出来事から心春は自分の友達との付き合い方について深く考えていく事になる。			

6	高田	ぴくとないずど	ピクトナイズド
今や「ピクトグラム」という言葉も一般的になりました。そんな世の中で、ピクトグラムの種類を増やしすぎたら面白いのではないかという考えのもと作りました。また、増やしすぎたらどういう弊害が起こりえるのか、というメッセージも伝えられるよう作りました。 かなりの期間日本を離れていた主人公。久々に帰国すると、いたるところに多くのピクトグラムが溢れている。中には理解しがたいものもあり、長年日本にいる友人にピクトグラムの意味するところを尋ね、教えてもらい、を繰り返す。無意味あるいは不必要なピクトグラムに対してツッコミをいれる。そんなやりとりを通して、主人公はピクトグラムについて考えてみる。			

7	大分舞鶴	便座談	ベンザタン
皆さんは友人や、家族からの相談を受けたことがありますか？ 正直相談を受けてもどう答えれば分かりませんよね。そんな時、私たちにすべきことは何なのでしょう？ ただ自分の立場からアドバイスをするのではなく、できるだけ相手の立場に立って共に考えるのがいいのでしょうか？ ただ相手の話を聞いてみるのだけが良いのでしょうか？ この番組を通して皆さんも何が必要か考えてみてください。 個室トイレで用を足していた斉藤一真はたまたま隣の個室トイレに入ってきてむせび泣く村上猛に驚き、心配して猛の相談に乗ることになった。猛は一真に、自身の大切な人である「ケイちゃん」と喧嘩してしまい、どうすれば良いか、と打ち明ける。一真は2人を仲直りさせる糸口を見つけるため、さまざまな質問を猛に問うが、想像していたものと実際の2人の関係性があまりにも違うことに動揺を示し、違和感を覚える。あり得ないほど不純な2人の関係を聞いて、一真は猛に不満を募らせ、ついには猛に八つ当たりを始める。それに呼応する様に猛も行動して、その場の流れでケイちゃんに電話をする。一真はトイレの壁越しに2人の会話を邪魔していると、ケイちゃんが一真と話したいと言い、電話のスピーカーでケイちゃんと会話することになる。そして、ケイちゃんの言葉を聞いた一真は自分が勝手な思い違いをしていたことに気づくのだった。			

8	別府鶴見丘	獏 to the Future	バクトウザフューチャー
周囲の人たちがどんどん将来の夢、目標を定めていく中で、夢をもてないことに息苦しさを覚える人も少なからずいるのではないのでしょうか。将来の夢をもつことに対して「高校生である今、すぐ見つけなくてはならない」という考えではなく「今は無理かもしれないけど見落とさなければいつかは見つかるモノなんだから気に病まなくてもいいんだ」という考えの下にこの作品を制作しました。 主人公スバルは夢を見つけれず疎外感を感じていた。そんな彼と、動物園から逃げ出した夢食いバクがひょんな所で出会う。スバルは「夢を見つける」、バクは「夢を食べる」というお互い異なる下心のもと共に夢探しの旅に出る。いろいろな人の子供の頃に体験した将来の夢につながる記憶を覗き見することで、夢の在り方について「今すぐ見つけなくてはならない」という考えではなく「今は無理かもしれないけど見落とさなければいつかは見つかるモノなんだから気に病まなくてもいいんだ」というような考えに改めるようになる。夢探しを通じて仲良くなった2人だがバクを追いかけてきた飼育員にバクが捕まってしまう。自分ひとりでは夢を見つけることが難しいと気づいたスバル。彼は、バクが死んだと思いお墓参りへ向かう。しかしバクは実は生きていて二人は再会を果たす。夢を見つけるための目標を定めたスバルは再びバクと共に夢を探すことを心に決めた。			

9	芸術緑丘	バック・トゥ・ザ・ピクチャー	バックトゥザピクチャー
学生生活の中で、部活動は各々の個性を発揮する場の一つです。この作品では、美術とSF的な要素を合わせました。美術をテーマにしたのは、自由に表現できる世界が貴重であり、また、表現できる今を大事にしようという思いを込め、物語のメインに置きたかったからです。悩み多き高校生の当たり前の日常に、未来の女子高生がタイムスリップしてくるという世界観がドラマとしての面白さを引き立てると思い制作をしました。 県立高校3年生で美術部に所属している奥野芽生は、自身としては最後になる夏のコンクールを控えている。ある日、出品用の作品を制作している途中で、天井から突然少女が降ってきて芽生は肝心の手首を怪我してしまう。落ちてきた女子高生「咲」はなんと芽生の子孫で、しかも色のない未来からやってきたという。手を怪我して制作が困難になってしまった芽生は無事に夏のコンクールに向けて作品を仕上げることはできるのか。咲が過去にやってきた目的は何か。美術の世界観の違う二人の歯車はかみ合うのか、異なる時代の二人が懸命に今を生きようとする。			

10	宇佐①	Gathering	ギャザリング
オレオレ詐欺は、数年前から話題になっていますが、現在でもなかなかなくなっていません。なぜなのでしょう。その要因の一つに、親が子と会う機会が減ってきているため、お互いのことをあまり知れていないからということが挙げられます。だから、そんな詐欺被害者を減らすためにも、子が定期的に親と会い、家族団欒の時間を過ごしてほしいと、このドラマを制作しました。 電話の妖怪メリーちゃんとテレビの妖怪サーちゃんは、あるおばあちゃんを脅かしに行く。しかしおばあちゃんは彼女らに驚くことなく、逆に彼女らを歓迎する。古き良き時代の話に花を咲かせる三人だったがそこに一通の電話がかかってくる。それはおばあちゃんの息子を名乗る電話だった。メリーが妖怪の力を使い確認してみると、その電話の正体は息子ではなく詐欺師。ふたりは電話の妖怪の力で懲らしめる。詐欺の被害からは助かったおばあちゃんだったが息子からの電話ではなかったことに落胆する。そんなおばあちゃんのためにふたりはテレビを通して息子におばあちゃんとこまめに連絡を取るよう言いに行く。息子もひさしぶりにおばあちゃんに会いに行こうかなと思う。			

11	宇佐②	愛のカタチ	アイノカタチ
LGBTQという言葉、知っている人は多いが、まだまだ社会に受け入れられているとはいえない。口では「私は受け入れられる。」と理想を言っている人も多いが、実際にはどれくらいの人を受け入れられているのだろうか。そんな現状を知ってもらい、多様性が実現した社会の実現へと近づけるべく「G（ゲイ）」を題材に物語を制作した。 ある男の子は、一つの秘密を隠して生きていた。それは、彼は「ゲイ」だということだ。しかしその秘密はバレてしまい、学校で噂され彼は不登校になってしまった。しかし数日後、高校生になり疎遠になっていた幼馴染から、呼び出され、自分も「ゲイ」であると告白された。そこから彼らは付き合うことになったが、それから半年後、幼馴染が自殺したのだった。恋人が死んだ真相を突き止めるべく、幼馴染の家に行くと、メモを見つけた。そのメモに書かれていた暗号をとき、幼馴染の死の真相を突き止めたのだった。			

12	日田①	青春とは	セイシュントハ
「青春とはなんだろう」という観点から話を膨らませ、ふたつの視点からの青春を描くことにしました。この作品は高校生視点の青春を表現しています。そして数多く存在する青春の中でも現役高校生が「青春といたら」で真っ先に思いつくであろう恋愛というカテゴリーに絞って制作しました。5人が全員違う恋愛していることから誰しも恋愛に関して同じ恋愛をしておらず、さまざまな恋愛の仕方があるということを表現しました。 まだ高校に入ったばかりの女子高校生5人が教室で昼食をとっていた。そんなときに廊下を歩く男子生徒の街人の彼の友達の声が聞こえてくる。彼は5人の中にいる悠を好んでいる生徒で、悠を見つけた声を出してしまった。友達にからかわれながら自分の教室に入っていく。そんな様子を聞いていた悠以外の4人は恋バナをすることにす。恋バナをする中で、それぞれが違う恋愛をしていることがわかる。そんな中でも悠は恋愛というものに興味を持てずなかなか話に入っていけない。居心地が悪くなり一旦教室を出ることにする悠。その間、4人はとある作戦を決行することにする。それは歩にも協力してもらい悠をキュンとさせてみることだった。歩はチャンスと捉え、作戦にのることにした。今までの悠はみんながいう理想の青春という言葉に論破していた。なのに一緒に帰る間に歩がとる行動を嫌だと感じないことに気づく悠。そしてだんだん恋愛というものに興味を持ち始めていく。			

13	日田②	青春ミラー	セリシユンミラー
「青春とはなんだろう」という観点から話を膨らませ、ふたつの視点からの青春を描くことにしました。この作品は、高校生を客観的に捉えて、描いた作品です。これを描こうと思ったのは歩いていたときにカーブミラーに自分が映ったことがきっかけです。このカーブミラーには私たち高校生がどのように映っているのかと考え、自分の考える青春を全力で楽しんで謳歌しようということを伝えたくてこの作品の制作に至りました。			
長年、みんなの見守りをしているカーブミラー。彼は毎日高校生の青春の一部を見ている。例えば、友達と話しながら歩く様子や、部活終わりの学生の様子など。毎日ありとあらゆる青春をミラー越しに見ている。でもカーブミラーである。当然歩くことも話しかけることもできない。だからこそ、自分は見守るだけの存在だから彼らに何もできていないと悩んでいた。そして、生徒の会話から、ふと雨が降った次の日もいつも通り生徒を見守れていることに気づく。不思議に思いつつも気にせずに過ごしていた。そんなある日大雨が降り彼の視界は何も見えなくなった。しかし、雨がやんだ明け方に彼を拭きに来てくれている女子生徒の存在を知る。彼女は10年前に事故でなくなっていたと思っていた少女だった。その彼女からカーブミラーのおかげで今があると知る。その日を境に悩みがなくなり、張り切って学生の見守りを続けることにした。そんな日現実的な物語ですが、自分にとっての青春とは何かということを考えられる物語です。			

創作テレビドラマ部門

整理 番号	学校名	タイトル	か
制作意図			
あらすじ			

1	大分南	異聞	イブン
『異聞（いぶん）』という言葉には「変わった噂・珍しい話」という意味のほかに、「一般的に言われていることとは別の情報」という意味もあります。真偽不明の情報が飛び交う現代の社会において、自分たちが「情報を発信する側」の役割を担った時、どう伝えるべきだろうか。私たちが出した答えを、ドラマとして表現しました。			
『異聞（いぶん）』という言葉には「変わった噂・珍しい話」という意味のほかに、「一般的に言われていることとは別の情報」という意味もあります。真偽不明の情報が飛び交う現代の社会において、自分たちが「情報を発信する側」の役割を担った時、どう伝えるべきだろうか。私たちが出した答えを、ドラマとして表現しました。			

2	大分商業	変えようブラック校則	カエヨブ ブラックコウソク
私たちの学校では、頭髪検査があります。前髪は眉毛の上という校則があり厳しいと感じていました。しかし、他校では”目にかからない程度まで”と校則に差がありました。私達以上に厳しい校則、いわゆるブラック校則と呼ばれるものがあるのでは無いかと思いました。規制を掛けるのは大切ですが、生徒の自由を奪ってしまうことがあります。ブラック校則と呼ばれるものが少しでもなくなればと思い、この作品を制作しました。			
校則が厳しいと噂がたつ高校にて、理事長の娘であり校則を守る風紀委員長の黒杉さんが生まれつきの髪型を注意された生徒と共に、校則を見直していく物語です。			

3	大分雄城台	S・A・F・T	サフト
普段、学校生活を送っていく中で自分の意志を相手に伝えることができているでしょうか。相手にどう思われるか、何も言わない方が良いのではないかな。そういったことばかり考えていくうちに自分の意志を見失ってはいないでしょうか。そうではなく、自分の意志を大切に、周りの人の力のおかげで生み出される選択肢から後悔しない決断をしてほしい。そんな意味を込めて、この作品を作りました。			
生徒活動自由促進組合、通称SAFTは学校の平和を守るため、日々陰ながら任務を遂行している。そんなある日、SAFTの長官白銀リョウカからミッションが下る。その内容は学校で多発している盗難事件を解決して欲しいというものだった。「12月25日に好きな人にプレゼントを渡すと恋が実る」というジンクスを信じ、プレゼントを用意しているといつの間にかなくなっている。そんな事件を解決するため、赤風空、黄波戸信、青峰奏多の3人は黒幕を見つけるため作戦を練る。そして見事作戦が成功し、犯人が黒炭大和だと判明する。激闘の末、3人の団結により大和を倒したが、それでも諦めない大和。それには過去に自身もジンクスを信じて告白したところ、断られプレゼントを潰されるという壮絶な過去が関係していた。しかし、3人の説得により、改心した大和。そして12月25日、プレゼントは生徒たちのもとに返され学校の平和は守られた。			

4	杵築	鮫霊	サメイ
最近SNSの利用者増加に伴い、SNSに依存してしまう人や過激な投稿で炎上する人などが目につくようになってきていると感じました。そこで「炎上投稿」に焦点をあて、同じ動画を制作するものとして注意しなければならないと思い、この番組を制作しました。			
とある出来事をきっかけに怨霊となった鮫島は自分が経験したつらい思いをしてほしくない、世の中の不幸を背負う「怨念収集センター」を立ち上げた。そんなある日過激な配信者の被害にあった怨念が急増していることに気づいた鮫島はこれ以上被害者を増やさないために炎上系動画配信者を懲らしめることにした。そして最初の標的となったのは高校生配信者の健太と一樹。二人はなかなか伸びない再生数に悩み炎上動画へ手を染めようとしていた。そんなふたりは鮫島の策略にはまりとある廃校を探索することに。			

5	大分舞鶴	先生が来ない！	せんせいゝこない！
この作品の主題は「対話」です。私たちは普段、当たり前のように他者と会話をしています。そのなかで、意思を伝えるには、相手との「対話する姿勢」が必要になってきます。「会話」しているけれど、自分の意思はきちんと伝えられているのか。相手の意思を尊重できているのか。学校を舞台に、何気ない日常で起こりうる「他者との対立」から「対話」の大切さを伝えたいと考え、このドラマを制作しました。			
「先生来ないので、呼んできます。」—ここは、大分県立大分鶴舞高等学校2年4組の教室。川沿いに位置するこの学校の教室に吹く風は、春の爽やかさを感じるが、授業開始のベルが鳴って10分しても若菜先生は教室にやってこない。普段、時間に厳しく一度も遅れてきたことのない若菜先生が来ないことに、教室には不安や戸惑い、単語テストがなくなるかも…という期待など、なんとも言えない空気が漂っている。自習をしてこの時間を有意義に過ごすとする者、とりあえず友達と話す者、先生を心配してそわそわする者。そんななかで、学級委員長の伊院長助が「先生来ないので、呼んできます」と立ち上がる。委員長の行動はごく当たり前のはずなのに、それを止める者が現れる。一軍女子の派手川乙女の思いとは…。お互いに譲ろうとせず、周りを巻き込みながら「対立」は少しずつ大きくなっていく。			

6	大分上野丘	あなたが落としたのは、	アナタが オツタハ、
学生の友人関係の悩み、他人を認め、尊重することの大切さを伝えたくてこの作品を作りました。現実とはかけ離れた内容で、多少衝撃的なシーンもありますが、そこから人のもっている不満の大きさや、内にひそむ自分を表現しています。人と関わっていく上で自分の理想と現実はどうしても異なります。しかし大切なのは理想の押し付けではなく他人を理解することであるとこの作品を見た人に感じて欲しいです。			
この学校には、七不思議があった。ある階段から自分が必要ないと思った人を落とすと女神が現れるという噂だ。主人公の真央はその噂を信じ、友人の結菜を階段から落としてしまう。すると女神が現れ、真央は結菜を完璧な結菜と交換してもらった。やっと足手纏いから解放されると思った真央だったが、結菜は自分より完璧を求め、なんでもこなすようになったことで今度は自分が彼女の足手纏いになっていってしまう。そして二人は再びあの階段にやって来ていた。真央に対して我慢できなくなった結菜は彼女を階段から落とした。目を覚ました真央がいたのは謎の世界。彼女はどのようなこともできず彷徨っていた。しかしその世界で自分が落とした結菜に再会する。二人はそこで自分がこれまでに思ったことや本音を話し、仲直りをする事ができた。その時二人の目の前に女神が現れ、急に視界が明るくなる。気がつく二人は元の世界に戻っていたのだった。			

7	宇佐	Love is money	ラブ イズ マネー
高校生になったら、必ず目にするであろう奨学金。奨学金は、全国の多くの生徒が利用する制度だ。実際に私たちも、奨学金の説明会を受け、結婚したら親の扶養から外れるため、給付型の奨学金がもらえるかもしれないことに気がついた。最初は、名案だと思ったが、そこにはとある問題点が隠されていたことに気がついた。その問題点とは何なのか、奨学金の目的とは何なのかについて考えてもらうためこの作品を制作した。			
主人公の清末くんは、高校三年生。彼女にも、友達にも恵まれ、充実した高校生活を送っている清末さんですが、ある悩みがあります。大学の入学資金がない！奨学金の案内を見ている清末くんは、ある秘策を思い付きます。「結婚したら奨学金もらえるんじゃない！？」彼女をその気にさせるため、ありとあらゆることを行ってみる清末くんですが、奨学金を借りて、夢を叶えた人を見たときに、自分の行動を反省します。「俺が今していることは、奨学金の本来の目的に反しているのではないか…」そう思った清末くんは、彼女に本当のことを打ち明けようと決心します。清末くんが、彼女に真実を伝えたとき、彼女は、予想外の反応を見せ…！？			

8	日田	分かり合えなくても	ワカリアナクテモ
この人はこういう人だからこういう世界観を持っていてこうしたらこう感じるだろう。この長い流れにより互いを理解し合いみんなが受け入れられるようになると私たち高校生は教えられます。ですがこの人はこういう人で完結し相手に対する深い理解なしに互いを受け入れ合うこともよくあると思います。この短い流れを実現するために相手を理解すること、そして相手から理解されることを知らない少年を描いた作品を作ろうと思いました。			
3年生からうるさいと苦情がきた放送部。その後変わった高校生の陽太郎が入部する。部員の拓と真奈は陽太郎の個性に混乱。陽太郎の自己紹介で拓は混乱が続くが真奈は陽太郎を受け入れていく。そして2人は陽太郎に経験を積ませるため放送部の活動に参加させてみるがそこでも陽太郎の個性が発揮された。最後に朗読劇をやってみると陽太郎の影響で大きな声が出てまた3年生が苦情を出しにきた。3年生に真奈が腹を立て3年生に向かって言い返す。2人の感情を理解していない陽太郎は2人の間に入って喧嘩を止める。次の日拓が部室に来ると真奈と陽太郎が机を並べていた。その後陽太郎が大きな声を出し苦情を出しにきた3年生を陽太郎が捕まえそのまま朗読劇の聴衆にする。3年生は勉強の八つ当たりで放送部に来ていたが陽太郎の個性に面白さを感じる。それをきっかけに朗読劇に他の観客が来るようになり拓を含めたみんなが陽太郎を受け入れるようになった。			

【研究発表部門】 ※発表順は会場での抽選で決定します。

発表 番号	学校名	タイトル	か
要旨			

1	中津北	カーテンを開いて	カーテンヒライテ
放送室と言えば物が散らかっているイメージがありませんか。中津北高校の放送室も使わない物で溢れていました。そんな時、お昼の放送の新企画のため放送室のリフォームをするべく立ち上がった部員たちがいます。放送部にとって居心地のいい空間にするための取り組みを発表します。			

2	大分舞鶴	CUEシート自動化してみた	キューシートジドウカシテミタ
番組制作をする放送部員にとって身近な存在であるCUEシート。しかし、作成するには時間がかかってしまい、手間も多くかかってしまいます。そこで、少しでも作成の手間を減らすにはどうすれば良いかということを考え、実際に編集しているデータを分析し、その結果をもとに、編集データからCUEシートの作成の補助を自動的に行うことができるアプリケーションを開発しました。			

3	宇佐	新時代の部活動	シンジダイノブカトル
宇佐高校放送部は先輩と後輩との間のつながりが薄く、技術やノウハウをうまく受け継ぐことができていませんでした。そんな中、大分県が主催する部活動サミットという催しに文化部では唯一参加してボトムアップ理論に出会いました。その理論自体は、運動部向けに考えられたものでしたが、それを放送部にも応用することで持続可能な部活動を作ることができるのではないかと考えました。			